

## 談話室

産経新聞 令和2年(2020年)5月11日(月)

### ありがたい家族と囲む食卓

大学生 井上朝賀<sup>よしか</sup> 20

春休みが延びて、最初は正直、うれしかったが、日に日に苦痛が増している。慣れないメールを利用し

た大学への課題提出が続き、友人たちに会えない寂しさが募る。テレビをつければ、感染者情報と大人たちの討論ばかり。でも、新型コロナのおか

げで気づいた。まずいかに多くの人たちと、毎日知らないうちに交流、接触していたかということだ。

さらに一番感じたのは、家族の食卓のありがたさだった。外出ができないため、家族との食事の機会が増えた。

大学生になってから夕食

を友人と済ませたり、バイトの賄い料理を食べたりして、家でご飯を食べることが減っていた。

帰宅も遅いため、家族と顔を合わせる時間も少なかった。

最近毎日、母から「ごはんいる？」ではなく、「何食べたい？」と聞かれる。なんだか少しうれしかった。

(大阪市東住吉区)